

章	ページ	箇所	誤	正
1章	19	筐体の中身 1行目	読み取り装置	電子書籍リーダ
	20	図1.7の説明 8行目	論理印刷回路基板	プリント基板
	31	上から1行目	XがYよりも速ければ,	XがYよりも高い性能であれば,
	31	上から3行目	「XはYよりもn倍速い」	「XはYのn倍の性能」
	31	上から5行目	XがYよりもn倍速ければ,	XがYのn倍の性能であれば,
	31	例題 2行目	AはBよりもどれだけ速いか.	AはBの何倍の性能か.
	31	例題の解答 1行目	AはBよりもn倍速いというとき,	AはBのn倍の性能というとき,
	31	例題の解答 下から1行目	AはBよりも1.5倍速い.	AはBの1.5倍の性能である.
	31	例題の解答の直後の行	コンピュータAよりも1.5倍遅い	コンピュータAの1.5分の1の性能
	31	下から6行目	「より速い」	「何倍の性能」
	35	式の直後の行	clock cycle per instruction	clock cycles per instruction
	37, 52	実行時間の式	実行時間 = プログラムでの実行命令数 $\times \frac{\text{クロック・サイクル数}}{\text{命令}} \times \frac{\text{秒}}{\text{クロック・サイクル}}$	実行時間 = $\frac{\text{秒}}{\text{プログラム}} = \frac{\text{命令数}}{\text{プログラム}} \times \frac{\text{クロック・サイクル数}}{\text{命令}} \times \frac{\text{秒}}{\text{クロック・サイクル}}$
2章	102	図2.13の \$gp \rightarrow 1000\ 8000_{16}\$ の位置	(図内の静的データと動的データの境界付近)	(図内の静的データの中央付近に移動)
	127	動的にリンクするライブラリ 1行目	この項では, ……する, 伝統的な方法を説明する.	本節では, ……する伝統的な方法を, これまで説明してきた.
	127	下から11~10行目	プログラムはダミー・エントリを呼出して, 間接ジャンプを行う.	プログラムは間接ジャンプにより, ダミー・エントリを呼び出す.
	127	下から7~6行目	リンク・ローダは間接ジャンプを実行する.	リンク・ローダはジャンプを実行する.
	132~136	sort手続きのプログラム	(図2.26は正しいバブルソートのコードではないが, 133~136ページはこのコードを前提とした説明として読めばよい)	
	137	プログラム性能の理解 1~2行目	コンパイル時間, クロック・サイクル数	クロック・サイクル数
	137	プログラム性能の理解 10行目	Javaコードよりも8.3倍高速である	Javaコードと比較して8.3倍の性能である
	137	プログラム性能の理解 11行目	CよりもJavaの方が2.1倍速くなる	Cと比較してJavaが2.1倍の性能となる
	137	プログラム性能の理解 12行目	1.13倍速い	1.13倍の性能である
	137	プログラム性能の理解 下から1行目	よりも50倍も速い	と比較して50倍の性能である
	155	2.18節 4行目および6行目	MOSStek 6502	MOS Technology 6502
3章	160	図2.45の説明 2行目	図3.26	図3.28
	175	補足 3行目	最小の負の数	絶対値最大の負の数
	180	図3.5の説明 1行目および5行目	図3.4	図3.3
	182	ハードウェアとソフトウェアのインタフェース 3~4行目	multuの場合はHiが0であれば, multの場合はHiの符号がLoと同じであれば, オーバフローは発生していない.	multuの場合はHiのビットがすべて0であれば, multの場合はHiのすべてのビットがLoの符号と同じならば, オーバフローは発生していない.
	191	下から15行目	$2.0_{10} \times 10^{-38}$	$1.2_{10} \times 10^{-38}$
	191	下から15行目	$2.0_{10} \times 10^{38}$	$3.4_{10} \times 10^{38}$
	192	上から4行目	$2.0_{10} \times 10^{-308}$	$2.2_{10} \times 10^{-308}$
	192	上から4行目	$2.0_{10} \times 10^{308}$	$1.8_{10} \times 10^{308}$
	205	図3.17 表内 下から7行目	lwc1 \$f2, 100(\$4)	lwc1 \$f2, 100(\$s4)
	205	図3.17 表内 下から6行目	swc1 \$f2, 100(\$4)	swc1 \$f2, 100(\$s4)
	214以降	節タイトルも含め本書内すべての箇所	半語並列性	部分語並列性
4章	237	上から3行目	第1章で紹介した	第2章で紹介した
	289	自己診断 2.の2行目	クロック・サイクルによって決まる	クロック・サイクル時間によって決まる
	290	自己診断 4.の2~3行目	サイクルそのものを短くする.	サイクル時間そのものを短くする.
	301	下から13行目	and (EX/MEM.RegisterRd $\neq$ ID/EX.RegisterRs)	and (EX/MEM.RegisterRd = ID/EX.RegisterRs))
	301	下から12行目	and (MEM/WB.RegisterRd = ID/EX.RegisterRs))	and (MEM/WB.RegisterRd = ID/EX.RegisterRs)
	301	下から6行目	and (EX/MEM.RegisterRd $\neq$ ID/EX.RegisterRt)	and (EX/MEM.RegisterRd = ID/EX.RegisterRt))
	301	下から5行目	and (MEM/WB.RegisterRd = ID/EX.RegisterRt))	and (MEM/WB.RegisterRd = ID/EX.RegisterRt)

4章	327	図4.70 表内 下から1行目	sw \$t0, 0(\$s1)	sw \$t0, 4(\$s1)
	328	用語説明 レジスタ・リネーミング	ループ展開の過程で、コンパイラまたは	コンパイラまたは
	328, 337	すべての箇所	擬似依存関係	逆依存関係
	333	図4.73表内 下から2行目 コア数/チップの欄	1	2～4
	335	下から10行目	算術演算用のどちらかのパイプラインから、	一組の命令のどちらからも、
5章	366	上から2行目, 3行目	random	random
	367	上から12行目, 14行目	別々のSRAMチップ	独立したSRAMチップ
	369	下から11～10行目	部分を指す、用語を	サブセットを指す用語を
	370	上から2行目, 8行目	摩耗	劣化
	372	上から20行目	摩耗の問題	劣化の問題
	374	上から5行目	使用されなかった上位部分	使用されなかった部分
	384	上から1行目	キャッシュ容量は16キビバイト	各キャッシュの容量は16キビバイト
	388	上から11行目	プログラム当たりの命令アクセス件数	プログラム当たりの命令数
	389	上から12行目	1命令アクセス当たりのミス件数	1命令当たりのミス数
	401	上から14行目	cij+ = A[...	cij+ = A[... (インデントを修正)
	401	上から17行目	}	(この行は削除)
	410	上から13行目	パリティ・ビット8は1である	パリティ・ビット8は0である
6章	441	図5.35表内 1行目	ページ・テーブルの代表値	ページングされる主記憶の代表値
	491	上から2～3行目	shared memory processor: SMP	symmetric multiprocessing: SMP
	493	例題の解答の1行目	1.8節	1.10節
	494	下から3行目	100 × 100	20 × 20
	496	解答 上から5～7行目	残りの39個のプロセッサが利用される時間は半分以下である。それらのプロセッサが計算に費やす時間は 380t/39=9.7t なので、負荷の重いプロセッサが作動している間、20tほど待ちになっている。	負荷の重いプロセッサが作動している20tの間、残りの39個のプロセッサが利用される時間は 380t/39=9.7t であり、利用率は半分以下となる。
	496	解答 上から8行目	5%の負荷	12.5%の負荷
	496	解答 下から4行目	20%以下 (9t / 59t)	20%以下 (9.0t / 50t)
	496	解答 下から1行目	5分の1にまで	3分の1にまで
	503	1番目の補足 上から2行目	ベクトル・レジスタのステートが大きいために、	ベクトル・レジスタの規模が大きくなると、
	511	下から2行目	for (i = 0; 1000*Pn; i < ...	for (i = 1000*Pn; i < ...
	512	上から2行目	OpenMPIに支持する。	OpenMPIに指示する。
	514	ハードウェアとソフトウェアのインタフェース 9～10行目	OpenCLは、CUDAに多くの利点をもたらす移植性の高いプログラミング言語を開発するために、	OpenCLは、CUDAの利点の多くをもたらすと共に移植性の高いプログラミング言語を開発するために、
	524, 525	524 下から1行目 から 525 2行目	毎日、十分な新しいサーバー容量を追加して、2003年時点のAmazonのグローバル・インフラストラクチャのすべてをサポートするようにする、	2003年当時に有していた設備に匹敵するサーバー容量を毎日追加している、
	529	上から1行目	移し変える作業である。	マッピングする作業である。
	537	上から1行目	1. ソフトウェア・プリフェッチ。	3. ソフトウェア・プリフェッチ。
	537	上から5行目	2. メモリの近接化。	4. メモリの近接化。
	540, 541	すべての箇所	Telsa	Tesla
	543	上から1～3行目	最近提案された4つのベンチマーク・スイートの計算およびメモリに関する特性を分析し、それからそれらの特性を捕捉する一連のスループット計算カーネルを形成することにより、研究者達はベンチマーク・プログラムを選択した。	研究者達は、最近提案された4つのベンチマーク・スイートにおいて計算とメモリに関する特性を分析しながらベンチマーク・プログラムを選択し、それらの特性を捕捉できるスループット計算カーネルの集合としてまとめた。
	549	下から2行目	ページを細分化して、それぞれにロックを付すことにより、	ページ・テーブル全体ではなく部分単位にロックを付すことにより、